技師法改正

診療放射線技師法改正と法解釈における疑問点の解決!

帝京大学 診療放射線学科 教授／済生会川口総合病院 病院長補佐｜富田博信

本稿では、2021年に施行された診療放射線技師法改正について、診療放射線技師法の歴史を紐解き、今回の法改正の6項目について概説する。更に、法改正を受け、実際の現場では多くの疑問点があることが推察される。それを踏まえ、良くある質問事項について重要項目として紹介する。

In this article, I will explain the revision of the Radiological Technologists Act enacted in 2021 and the history of the Radiological Technologists Act. In addition, I will explain six items of this revision of the law. When the law was revised, it was surmised that there were many questions in the actual workplace. Based on that, I will introduce frequently asked questions as important items.

はじめに

昨今、我々を取り巻く法律は改正が行われ、診療放射線技師の業務は、ここ数年大きく変化している。これにより、医療放射線領域の業務は益々多岐に渡ってくると想定される。このような中、本稿では2021年に施行された診療放射線技師法改正について、診療放射線技師法の歴史、法改正の概要を述べ、現場で良くある疑問事項について共有する。

診療放射線技師法改定とその歴史について

診療放射線技師法は、昭和26年(1951年)6月に法律第226号をもって「診療エックス線技師法」が公布された。その後、業務の拡大により昭和43年5月に「診療エックス線技師法及び診療放射線技師法」の2本立てが施行され、その後資格法統一に向けた活動を精力的に展開した結果、昭和58年10月に「診療放射線技師法」に一本化となった。更に、平成5年4月に超音波、MRI、眼底カメラの業務拡大の一部改正が行われ、平成17年7月に粒子線についての具体的な明示による一部改正、平成26年6月には、検査のための静脈針抜針・止血、下部消化管検査、

2016.9.27～	働き方改革実現会議
2017.3.28	働き方改革実行計画決定(長時間労働の是正、同一労働・同一賃金)
2017.8.2～	医師の働き方改革に関する検討会(医師の時間外労働の上限規制)
2018.6.29	働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律成立
2019.7.17	医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフティングに関するヒアリング(第2回) 日本診療放射線技師会意見提出
2019.10.23～	医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト+シェアの推進に関する検討会
2020.3.25	医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト+シェアの推進に関する検討会(第7回) →新型コロナウィルス感染症の影響により中止
2020.7～	厚生科研北村班「診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士の業務範囲拡大のための有資格者研修の確立及び学校養成所教育カリキュラム見直しに向けた研究」 【追加研修内容及び時間数の検討】
2020.12.9	自民党社会保障調査会医療委員会タスク・シフト+シェアPTヒアリング
2020.12.11	医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト+シェアの推進に関する検討会(第7回) 【論点整理(とりまとめ)】
2021.2.2	良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案(第205回常会)

図1　業務拡大に関するこれまでの経緯(時系列)

放射線治療時におけるIGRT時のチューブ挿入、胸部検診の包括的指示に基づく実施等の業務拡大がなされ、同時に、読影の補助業務、検査説明業務についても、通知文として発出された。医療の安全を担保することは重要であるため日本診療放射線技師会では、本改正法を受け、これらの業務を行うために、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした講習会を企画開催してきた。本講義内容は、厚生労働省における診療放射線技師教育内容検討会で審議された追加講習カリキュラムに基づき、「法律・倫理に関する知識」「造影剤の血管内投与静脈路の抜針・止血に必要な知識・技能・態度」「下部消化管検査に関する業務に必要な知識・技能・態度」「画像誘導放射線治療（image-guided radiotherapy：IGRT）に関する業務に必要な知識・技能・態度」「試験」を実施している。本講習会の受講率は全会員の60％を超える受講実績があり、2023年度以降も継続して講習会を開催していく方針である。

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律について

2024年4月に向けて、医師に対して時間外労働の上限規制が適用される労働時間の短縮を着実に推進していく具体的方向性の一つとしてタスク・シフティング／シェアリングがあげられており、「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進に関する検討会」が2019年10月23日～2020年12月11日まで７回にわたり厚労省にて、議論された。これは、「長時間労働の医師の労働時間短縮及び健康確保のための措置の整備等」として、医療法の改正が行われた。その中で、各医療関係職種の専門性の活用として、「医療関係職種の業務範囲の見直し」とされ、診療放射線技師法の改正を含む医療関係職種の専門範囲を拡大するための法令改正が行われた。法律案が成立したことを受けて、新たな診療放射線技師法は2021年10月1日から施行される。これらの経緯についての時系列

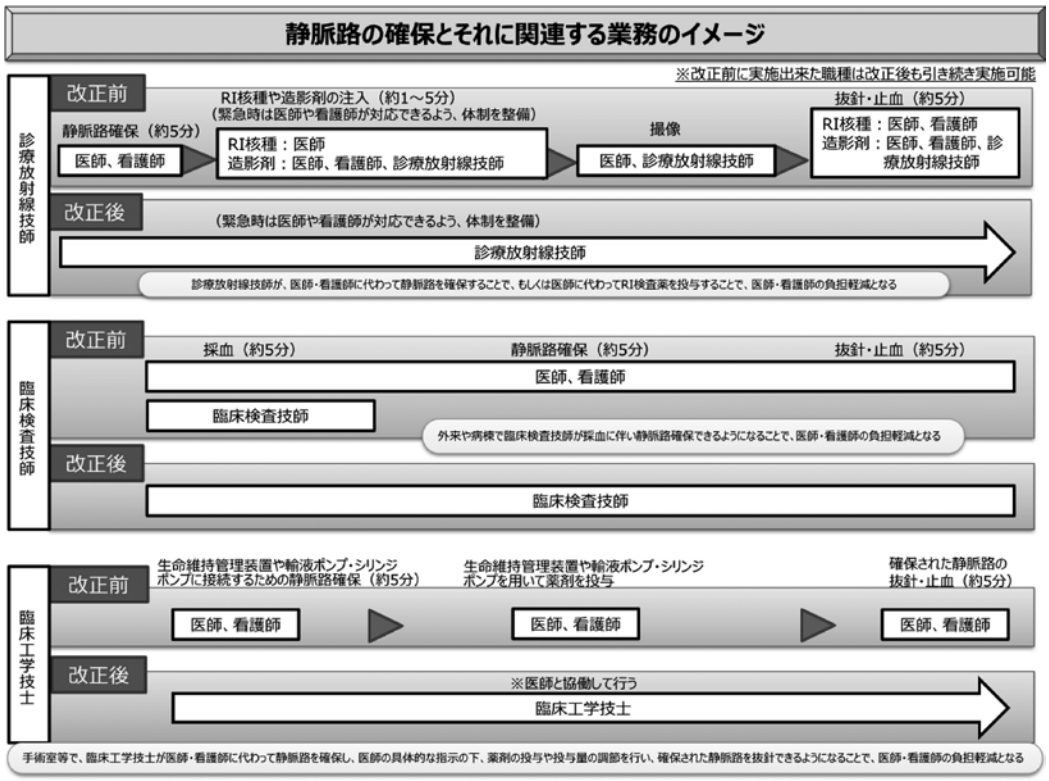

図2　静脈路の確保とそれに関連する業務のイメージ
出典　第7回 医師の働き方改革を進めるためのタスク･シフト/シェアの推進に関する検討会